

第7回 高梁市地域防災力向上委員会

日時：令和5年6月8日（木）

15：00～

場所：高梁市役所 3階大会議室 1

目 次

- 1 高梁市地域防災力向上委員会の活動状況について
- 2 自主防災組織設立・活動マニュアル（案）について
- 3 今後のスケジュール（案）について

1 高梁市地域防災力向上委員会の活動状況 について

＜設置目的＞

令和元年11月25日に高梁市防災会議条例第4条に規定する専門委員等で構成され、市民及び行政の協働による地域防災力の向上に係る取組みの調査、指導、助言等を行い、自助、共助及び公助の相互連携による防災体制の強化を図るために設置。

＜主な所掌事務＞

- ・ 地域防災力向上に資する施策、目標及び計画の調査及び検討に関すること。
- ・ 自主防災組織の取組み、地区防災計画策定の指導及び助言に関すること。
- ・ 市民の防災意識の啓発に資する取組みへの指導及び助言に関すること。

＜委員名簿＞ 18名 (令和5年6月8日現在)

三村 聡	委員長	(岡山大学副学長 地域総合研究センター センター長)
氏原 岳人	副委員長	(岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授)
末永 敦		(国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所 総括保全対策官)
菅野 能明		(岡山地方气象台 台長)
西田 一宏		(岡山県備中県民局地域づくり推進課 参事)
内田 武彦		(高梁市消防本部予防課 課長)
藤井 聡美		(高梁市教育委員会教育総務課 課長)
三村 秀樹		(高梁中央公民館 館長)
横林 史典		(高梁市社会福祉協議会地域福祉課 課長補佐)
神田 敬三		(日本防災士会岡山県支部 会員)
中村 光男		(北山町内自主防災会 会長)
三峰 守		(奥万田町自主防災会 会員)
新倉 淳		(高梁市消防団備中分団 機能別団員)
加藤 浩之		(高梁市消防団 副団長)
三村 繁美		(高梁市消防団 部長)
吉原 洋介		(高梁青年会議所 2023年度専務理事)
蜂谷 潔		(株式会社吉備ケーブルテレビ報道制作部 部長)
角銅 勇二		(高梁市民生委員児童委員協議会 会長)

<地域防災力向上委員会の開催> 全6回

- 令和元年11月26日 第1回高梁市地域防災力向上委員会 (高梁市図書館)
- 令和2年2月25日 第2回高梁市地域防災力向上委員会 (高梁市役所)
- 令和2年7月31日 第3回高梁市地域防災力向上委員会 (高梁市図書館)
- 令和3年3月24日 第4回高梁市地域防災力向上委員会 (オンライン)
- 令和3年8月23日 第5回高梁市地域防災力向上委員会 (オンライン)
- 令和3年11月18日 第6回高梁市地域防災力向上委員会 (高梁総合文化会館)

<防災に関するアンケート調査の実施> 令和2年3月

○市民向けアンケート

市内の20歳以上の男女1,000人に送付し、484人から回答

○自主防災組織向けアンケート

市内の自主防災組織等(防火クラブ含む)56組織に送付し、45組織から回答

<マイ・タイムライン講習会等の開催>

○令和元年11月29日 市職員向け講習会

○令和元年12月1日 市民向け講習会(お天気キャスターと作るマイ・タイムライン)

以降は、向上委員の吉原氏(高梁青年会議所)が講師となり、地域や小中学校などで開催

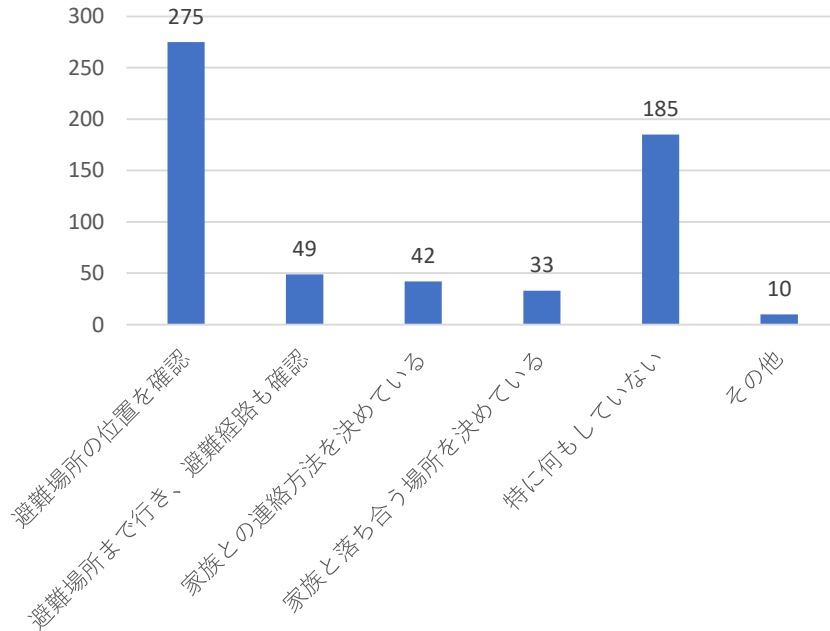
令和5年5月末までに、19回開催、延べ802人作成

(2) 防災に関するアンケート調査の実施

- ・ 高梁市地域防災力向上の目標・行動計画の目標設定や具体的な取組内容に反映させるため、市民向けと自主防災組織等に向けたアンケートを令和2年3月に実施した。
- ・ 市民向けは、市内の20歳以上の男女1000人に送付し、484人から回答。
- ・ 自主防災組織向けは、市内の自主防災組織等（防火クラブを含む）56組織に送付し、45組織から回答。

○市民向けアンケート結果（抜粋）

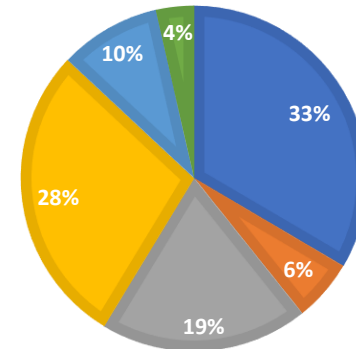
自宅以外の場所への避難の事態に備えてどのような対策をとっていますか。



- ・ 避難場所の位置を確認している方は半数以上いるが、経路まで確認している人は全体の1割しかいない。
- ・ 特に何もしていない方が38%

3年間に防災関連のイベント（訓練や催事など）に参加・見学したことがありますか。

- 参加したことがある
- 参加したことはないが、見学したことはある
- イベントが行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない
- イベントが行われていることをしらなかった
- わからない
- 未回答

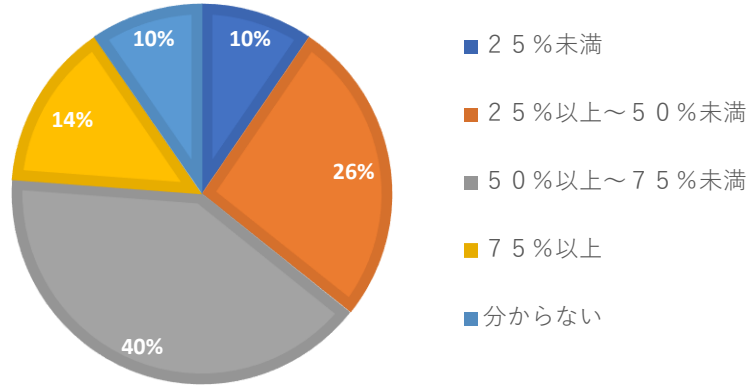


- ・ 防災関連のイベントに参加・見学したことがある方（39%）より、参加・見学したことがない方（47%）のほうが多い。

(2) 防災に関するアンケート調査の実施

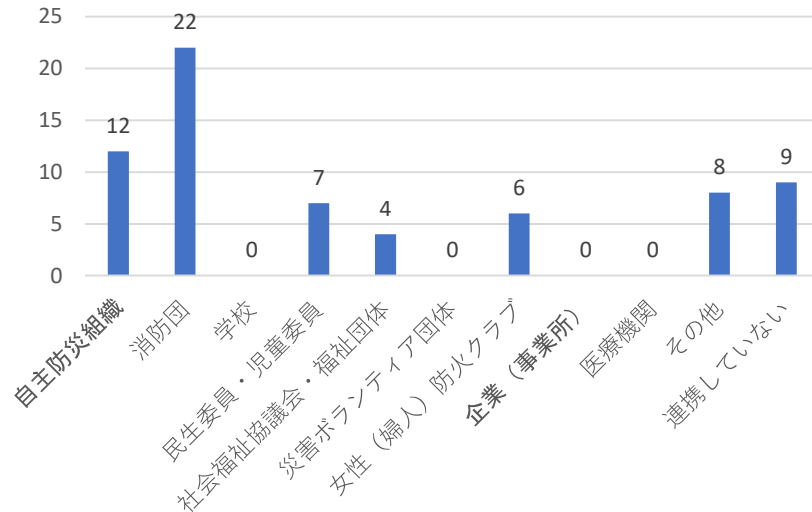
○ 自主防災組織向けアンケート結果（抜粋）

加入世帯のうち高齢者（65歳以上）の割合を教えてください。



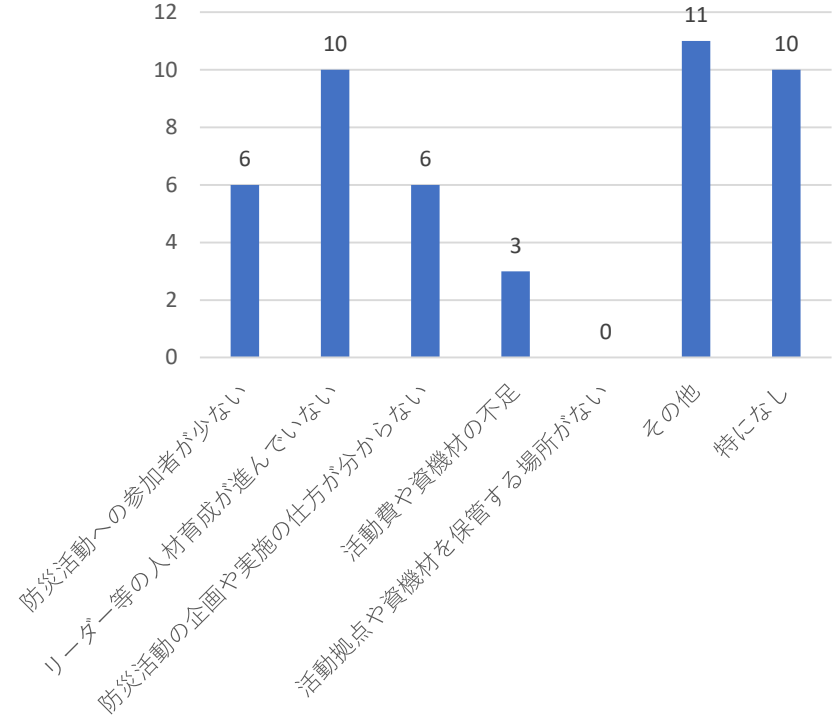
・ 組織の加入世帯の半数以上が高齢者

連携している組織を教えてください。



・ 半数の組織が、消防団と連携している。

組織の特に課題となっていることを教えてください。



課題の原因について、具体的に教えてください。

- ・ 防災に対する意識が低い
- ・ 地区間で防災に関する意識に大きなズレがある。
- ・ 高齢者が多く、先頭に立つ人がいない。
- ・ 高齢者が多く、活動に消極的
- ・ 若い人が入会せず、高齢化している。
- ・ 若い人は仕事があり、参加が難しい。

○市民向けアンケート結果分析

結果	(災害対策に関する意識) 今まで災害により被害を受けたり、身近には感じているが、対策や準備が十分にできてはいない。
	(防災に関する意識) 多くの方が、時間的な余裕がなく、防災関連のイベントへ参加できていない状況である。 参加したことがある方の多くは、地元の組織が開催する防災訓練に参加している。



原因	<ul style="list-style-type: none">・高梁市内で災害により、身近な方や多くの方の死傷者がなく、危機意識が低いため。・防災関連のイベントは、身近ではなく、子どもが楽しめるようなイベントではないため。
----	---

○自主防災組織向けアンケート結果分析

結果	組織全体が高齢化し、加入世帯も少なくなっており、リーダー等の人材育成も進んでいないため、今後の活動を継続していくことが難しくなっている。 こうした中、防災訓練の内容も消火訓練が多く、消防団との連携を多くの組織が図っており、消防団が地域防災の重要な組織となっている。
----	---



原因	<ul style="list-style-type: none">・人口減少と高齢化が進み、地域に若い人が少ないため。・若い人は、仕事もあるなかで、組織に加入すると、役員等もすることになり、負担が増えることを嫌がるため。・消防団は市内の組織でも若い人の割合が高い組織であるため。
----	--

<防災講話等の実施>

向上委員会設置から令和5年5月末までに、60回開催、延べ1,987人受講

○備中町コミュニティ連絡協議会 防災勉強会（全3回、延べ63人受講）

令和2年9月15日 第1回「最近の災害発生状況と防災市民アンケート調査結果について」

令和2年10月2日 第2回「マイ・タイムライン講習会について」

令和2年10月13日 第3回「自主防災組織の必要性を役割について」

○小中学校、高等学校での防災学習 18回開催、延べ726人受講

（避難所体験、マイタイムライン、AR浸水体験、防災動画）

令和2年度 福地小学校

令和3年度 高梁城南高校、有漢東小学校、有漢西小学校、高梁北中学校、川面小学校、高梁東中学校、川上中学校、高梁中学校

令和4年度 高梁城南高校、成羽小学校、高梁東中学校、高梁中学校、高梁城南高校（2）、落合小学校、高梁北中学校、高梁中学校（生徒会保健委員）、高梁高校
小学校 延べ6校、中学校 延べ8校、高等学校 延べ4校

<高梁市防災士・自主防災組織等連絡会の設立>

○令和3年6月1日 高梁市防災士・自主防災組織等連絡会を設立（書面による）

○令和4年8月4日 高梁市防災士・自主防災組織等連絡会全体会を開催（37人出席）

議題：自主防災組織の訓練内容（北山町内自主防災会、津川地域自主防災会）

事業計画（県自主防災リーダー研修会、倉敷防災フェア、防災士養成講座等）

研修：「あなたの町の予報官」による講演

岡山地方気象台 防災管理官 新納 孝寿 氏

(4) 地区防災計画及び防災マップの作成

<自主防災組織の設立支援等モデル地区事業>

【目的】

- ・ 自主防災組織の設立・活動を支援するとともに、優良事例として広くPRすることによって、市内の自主防災組織の設立促進を図る。

令和2年3月16日～4月15日の間で募集。

→ 3地区から応募があり、全ての地区をモデル地区として選定し、令和2年5月27日に選定書を交付

- ① あたご地域自主防災会（成羽町下原地区）約280世帯
- ② 成美コミュニティ推進協議会（成羽町成羽地区、成羽町羽山地区）約440世帯
- ③ 仁賀協議会（川上町仁賀地区）約120世帯 → 令和2年7月21日「仁賀地域自主防災会」を設立

【取組のゴール】

- ・ 各地区において、地域特性を反映し、全ての住民が理解し活動できる「地区防災計画」及び「防災マップ」を作成する。
- ・ 作成までの過程をマニュアル化し、他地域の作成モデルとする。

○ あたご地域自主防災会

令和3年8月1日 避難所体験訓練・・・避難所用間仕切りパーティション、ワンタッチパーティション、簡易ベッドの組立体験、避難情報や警戒レベルの学習



令和3年8月14～15日の避難指示発令時、成羽福祉センターに14名の方が自主避難され、あたご地域自主防災会で避難所運営を行った。

(4) 地区防災計画及び防災マップの作成

○成美コミュニティ推進協議会、仁賀地域自主防災会

- ①三村委員長、氏原副委員長の現地視察及び役員との意見交換（令和2年9月10日）
- ②地域カルテの作成（令和2年10月）
- ③第1回意見聴取懇談会（令和2年12月6日）
 - ・・・「自主防災の運営」をテーマに各地区の課題の洗い出しと整理を行った。
- ④第2回意見聴取懇談会（成美：令和3年3月28日、仁賀：令和3年3月7日）
 - ・・・第1回で取りまとめた課題のうち、最も意見の多かった「避難」に関する問題を解決するための具体的な行動について検討した。



①～④の取組をまとめ、整理した段階での「**地区防災計画（案）**」を作成



第3回意見聴取懇談会（成美：令和3年8月1日、仁賀：令和3年8月8日）

- ・・・作成途中の地区防災計画のうち、「災害時の活動」を時系列に具体的な活動として整理した。（「いつ」、「誰が」、「何を」を整理）



令和3年8月14～15日の避難指示発令時、成美では一部の集会所に自主避難されたり、指定避難所の運営を手伝われた。



第3回意見聴取懇談会での意見の反映と三村委員長、氏原副委員長からご指摘いただいた内容をもとに地区防災計画(案)を修正

(4) 地区防災計画及び防災マップの作成

岡山県の令和3年度備中県民局防災まちづくり事業（防災ワークショップ）実施地区に応募し、令和3年9月15日採択

→2地区の防災マップを作成することに決定

防災マップ作成ワークショップを開催（成美：令和3年12月4日）

- ・・・成美地区内の1つの町内会でまち歩きを実施し、地図に危険な箇所や災害時に役立つものなどを記載しながら、町内の情報の共有を図った。

※仁賀については、町内会長あてに文書を作成し、防災マップ作成に必要な情報の地図への記載を依頼



防災マップの作成については、現在、各地区の防災マップ作成に必要な情報を地図に落とし込み、令和4年5月に完成した。



(4) 地区防災計画及び防災マップの作成



防災マップの作成を進めるなかで、地域内の危険箇所などが発見され、避難開始時期、連絡網などの再検討を行うこととなり、改めて地区防災計画（案）の修正を行い、令和4年12月に地区防災計画が完成した。令和5年度には、防災訓練を実施し、地区防災計画の検証等を行う予定である。



これまでの活動を整理し、「自主防災組織設立・活動マニュアル」を作成する。

※モデル地区事業開始以降に設置された自主防災組織

○令和2年	7月	1日	古町上ノ丁町内会自主防災組織（成羽町成羽）
○令和2年	7月	21日	仁賀地域自主防災会（川上町仁賀）
○令和3年	8月	28日	谷尻大原自主防災会（川上町高山、川上町大原）
○令和3年	10月	1日	有漢地域第5地区自主防災会（有漢町有漢）
○令和3年	11月	30日	平川地域自主防災会（備中町平川）
○令和4年	12月	1日	山本上町内自主防災会（成羽町成羽）
○令和5年	4月	2日	東枝自主防災会（成羽町成羽）

第1回の地域防災力向上委員会から協議されてきた「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」について、これまでの各種取組のなかで、抽出された課題やその課題に対する各主体の具体的な取組内容を整理



第6回の地域防災力向上委員会において、承認された。

【高梁市地域防災力向上の目標・行動計画の概要】

- ・ 全体目標は「市民一人ひとりが自らの命を守る行動がとれる」
- ・ 実施主体を「市民（自助）」、「地域（共助）」、「市（公助）」の3つに分ける
- ・ 実施主体それぞれの目標の方向性、課題、取組等について整理
- ・ 市民と地域が実施していく具体的な取組内容については、市の具体的な取組内容が支援・連携する仕組みとなっている。
- ・ 向上委員については、その他支援団体として、市民・地域・市の具体的な取組を支援していくこととしている。



今後、「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」について、自主防災組織など「地域」と連携しながら、長期的・継続的に広報を実施していく。

高梁市地域防災力向上の目標・行動計画 関係図

【市民(自助)】

- a. マイ・タイムライン作成
- b. 避難行動のための情報入手
- c. 非常持出品の準備
- d. 防災講座や学習会等への参加
- e. 防災教育の受講
- f. 防災訓練への参加
- g. 防災士資格の取得
- h. 個別避難計画の作成

地域で助け合って
地域の安全を確保

- 地域コミュニティの確保
- 地域内協力体制構築
- 地域防災力強化

【地域(共助)】

- A) 自主防災組織の結成
- B) 防災士・自主防災組織等連絡会の活動
- C) 自主防災組織活動促進に向けたワークショップ受講
- D) 地区防災計画の策定
- E) 防災マップの作成
- F) 自主防災組織等による防災学習会開催
- G) 自主防災組織等による防災訓練実施
- H) 自主防災組織等による避難所の自主運営
- I) 避難行動要支援者の個別避難計画に基づく避難支援

市民の適切な避難行動を促進

- 防災意識・知識の向上
- 個々の防災対応力の向上
- 事前の備えの確保

市民一人ひとりが
自らの命を守るための
行動がとれる

市民の適切な避難行動を促進

- 地域組織力の強化
- 地域コミュニティの強化
- 地域間連携の確保

【高梁市(公助)】

- 1. マイ・タイムライン作成支援
- 2. 情報伝達手段の多様化・広報
- 3. 河川監視カメラの追加整備・広報
- 4. ハザードマップの電子化
- 5. 防災講座や学習会の開催
- 6. 防災訓練の開催
- 7. 避難所運営マニュアルの策定・配布・運用
- 8. 自主防災組織設立に向けた説明会の開催
- 9. 自主防災組織活動促進に向けた補助
- 10. 防災士資格取得への補助
- 11. 避難行動要支援者名簿の管理システムを活用した個別避難計画の作成

(5) 高梁市地域防災力向上の目標・行動計画

高梁市地域防災力向上の目標・行動計画【 市民（自助） 】

全体目標	実施主体	目標の方向性	課題	取組の方向性	取組指標	具体的な取組内容	支援・連携する市（公助）の取組	その他支援団体
市民一人ひとりが自らの命を守る行動がとれる	市民（自助）	自分自身や家族の命を守るために、市民一人ひとりが自ら判断して避難行動を行う	・防災情報の認知度が低い ・事前に避難行動を考えていない	・市民一人ひとりが、居住地の災害危険情報や防災行動に関して学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動を考えている人の割合 (72%→100%) ・防災関連のイベントに3年間で参加したことのある人の割合 (33%→100%) ・住んでいる地域の災害に対する安全性・危険性を把握している人の割合 (92%→100%) ・地域のハザードマップを持っている・見たことがある人の割合 (71%→100%) 	a マイ・タイムライン作成	①	高梁青年会議所
						b 避難行動のための情報入手	②③④	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 ケーブルテレビ
						c 非常持出品の準備	⑤	防災士会 自主防災組織
						d 防災講座や学習会等への参加	⑤	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 公民館 岡山大学 防災士会 自主防災組織 高梁青年会議所 消防団
						e 防災訓練への参加	⑥	自主防災組織
						f 防災教育の受講	⑤	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 教育委員会 高梁青年会議所
						g 防災士資格の取得	⑩	
						h 個別避難計画の作成	⑪	社会福祉協議会 自主防災組織 消防団 民生委員児童委員

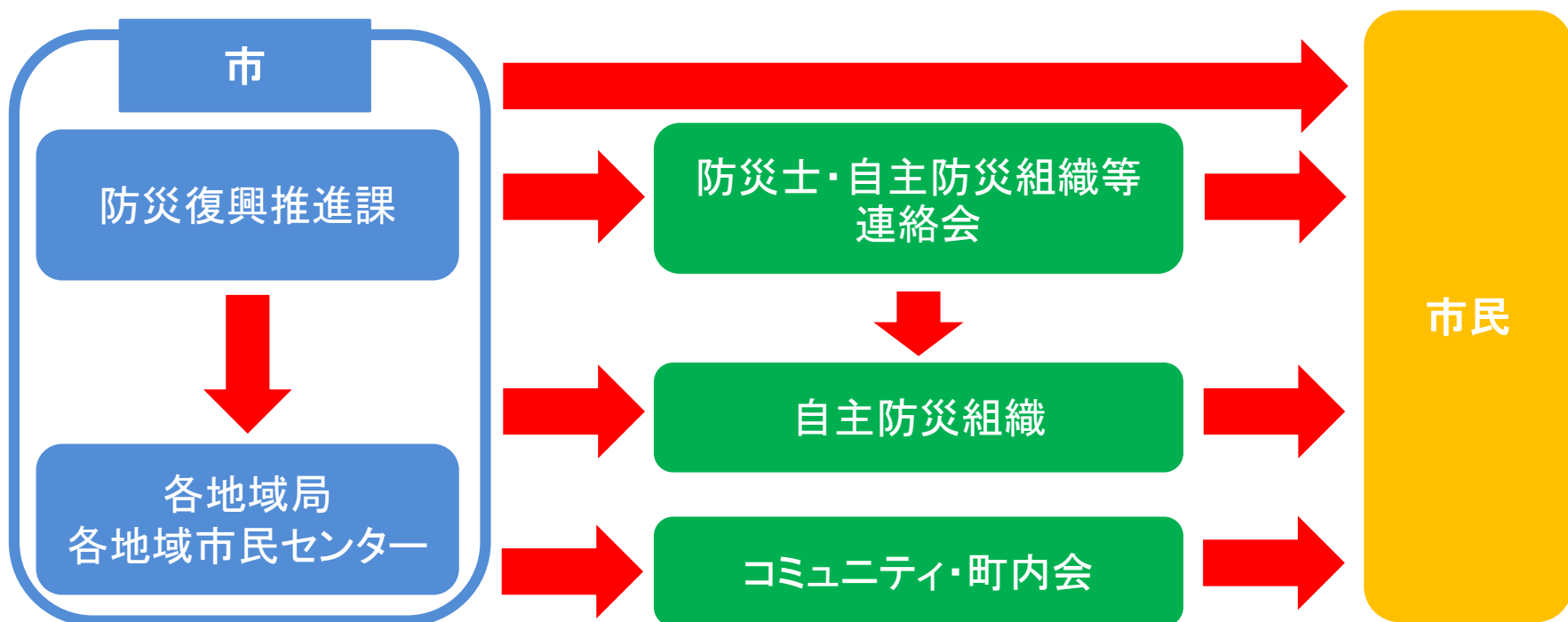
「市民（自助）・地域（共助）の具体的な取組内容とその解説」、「向上委員活動一覧」とあわせて、広報を実施

○広報方法

- ・ 広報紙、ホームページへの掲載
- ・ チラシを作成し、各戸へ配布
- ・ 自主防災組織への説明
- ・ ケーブルテレビでの放送
- ・ 防災士・自主防災組織等連絡会での説明
- ・ 各地域局・各地域市民センターへの説明

など

※「市民」への広報は、自主防災組織など「地域」と連携しながら、長期的・継続的に実施



2 自主防災組織設立・活動マニュアル（案） について

詳細については、別冊資料をご覧ください。

3 今後のスケジュール（案）について

今後必要となる活動内容

- ・ 向上委員会として支援している自主防災組織の設立支援等モデル地区について、「地区防災計画」と「地区防災マップ」の作成が完了しているが、事業の総括ができていない。
- ・ 自主防災組織設立・活動マニュアルの作成が未完了であり、市内各地区へ自主防災組織設立に向けた働きかけを行うためのマニュアル活用方針と目標設定が未定である。



○今後のスケジュール (案)

- ・ モデル地区事業
「地区防災計画」と「地区防災マップ」の作成完了 (令和4年12月)
→防災訓練を実施し、「地区防災計画」と「地区防災マップ」の修正を行う
- ・ 自主防災組織設立・活動マニュアルの完成 (令和5年9月)
- ・ 向上委員会の調査結果報告書の作成 (令和5年11月)
→市長に提言又は報告 (※地域防災力向上委員会設置要綱第2条)

令和5年度高梁市地域防災力向上委員会スケジュール(案)

	委員会	地域(モデル地区)
4月	・委員長・副委員長協議(20日)	
5月		
6月	・第7回委員会開催(8日)	・モデル地区等大規模水害訓練参加(11日) ・大規模水害訓練問題点洗い出し作業(下旬)
7月	・自主防災組織育成設立、活動マニュアル案作成	・地区防災計画、防災マップ見直し修正作業
8月	↓	↓
9月	・第8回委員会開催(マニュアル完成) ・調査報告書作成・取りまとめ	↓
10月	↓	・地区防災計画、防災マップ修正完了
11月	・第9回委員会開催(調査結果報告書提出)	
12月		
1月		
2月		
3月		